職場からの声

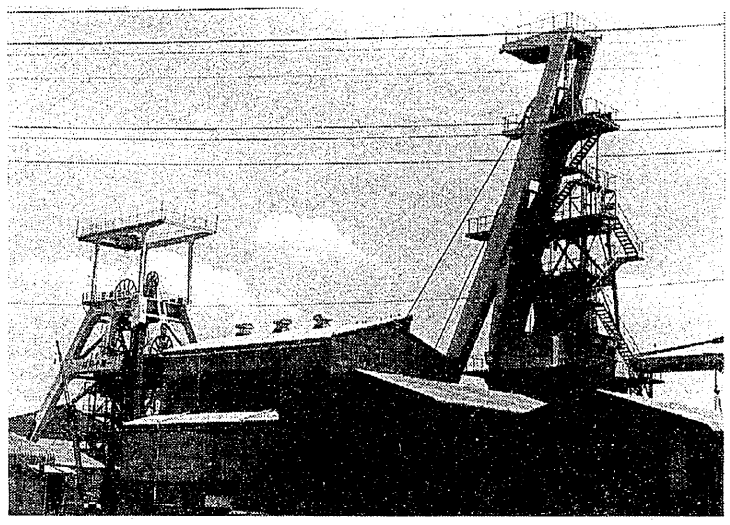
これでいいか保安会

開発常一番の最近の保安会では、A主席が負傷報告をしたあと、T係長が掘進計画その他の注意事項や教育的なことを話して終わり。普通一時間ある保安会の時間をいっぱいに使って「これで終わります」と言って、質問や討議の時間もない状況です。

これでは〝上意下達〟だけで、本当にどうしたら負傷をなくし、職場での保安を確立するのかという議論がなければ、真の意味での保安会の役割が果たせないのではないかと思います。

A主席やT係長の話を十分間でも縮めて、質問の時間をつくれば、より良い保安会になると思うのですが、皆さんはどう思いますか。

（職場新聞『きずな』から）



肩身が狭い期末手当

三池炭鉱の期末手当は、五十五万円の要求に対して三十四万六千円で妥結しました。

これは太平洋、住友など他の炭鉱と比べても二万円も少なく、地元の三井化学、九電、電化などが七十万円を超え、三作は四十六万円、港務所が五十万八千円などと比べても格段に少ない超低額となっています。

三井資本が三池炭鉱を落札して百年。会社は『男たちの世紀――三井鉱山の百年――』という社史のダイジェスト版を刊行したそうですが、あまりにも少ないボーナスでは、百年の歴史に恥しく、肩身のせまい思いがします。

地下産業にふさわしい期末手当を、百年の歴史に誇れる期末手当を手にとって見たいものです。

（職場新聞『やま』から）

浴場の水を上水道水に

三池鉱の鉱員浴場には東と西の二つの浴室があり、そのうち西側の角にある小さい上り湯の浴槽には、真水の湯が使用されていて、〝緑膿菌〟の入った湯とは見ただけで違いがすぐに分かります。

澄みきった色で塩分がなく、石けんの泡がよく立ち、髪がパサパサしません。

坑内水を濾過した湯では皮膚病や傷が治りません。この〝緑膿菌〟の入った水は、三池鉱の前にある真っ黒い池で四カ所ほどで坑内水を濾過してできた水。最後のところは、埋め立てでできた溜り水と一緒になっています。その場所には簡単に見に行けます。一度見て下さい。先にあげた、小さな浴槽の真水（上水道）を全部の浴槽に使用するよう要求します。

（職場新聞『きずな』から）

労働者がいなくなる

三年続きの合理化で人員が激減した三池炭鉱では、現場の人員不足が問題になっていますが、このままでは労務閉山になるのではと心配する声が出ています。

旧第一鉱（三川鉱）の坑内電車庫では、現在七人が働いていますが、来年は二人が定年退職になり、あと二年半経つと三人になってしまいます。

また、揚炭本線電気の場合は二年半で三人が一人になり、人員補充なしには現場が維持できなくなります。

このような状況は電気関係だけでなく、保線や機械など他の職場も同じで、余剰人員どころか新規採用をしなければ、現場が維持できないところまできています。

三井石炭は、新規採用を再開して必要な人員を補充したらどうでしょうか。

（職場新聞『やま』から）

海見

真夏とはいえ、連日暑い日が続いています。――云うまいと思えども今日の暑さかな――なるほど、昔の人はいいことを言いますね。

暑い暑いとばかりも言っておれません。狭い私の家の庭先にもダリヤの花がきれいに咲いて「人間さんよ、あまりギスギスしなさんな」とばかりに、呼びかけているようです。花っていいものです。人の心を和ましてくれます。

さる六月、お隣りの福岡県の参議院補欠選挙で、社会党が自民党に大差をつけて議席を得ました。しかも女性議員が誕生して、喜んだのは私一人ではなかったと思います。

うまい美酒に酔うこともいいことですが、酔いがさめたらもう次の選挙です。統一地方選が目前に迫っています。この選挙に勝ち抜いて私たちの生活を守り、社会を変えなくてはならない大切な時です。

ダリアの花のように

荒尾ブロック　一老婦

嫌われても嫌われても消費税が居座り、わずかばかりの賃上げがあっても消費税が先廻りして追っつかない有様。――消費税よ、てめぇさっさと消えておしまい――ですよ。

年金生活者は、スライドで額上げ、さかのぼって支給、と宣伝されましたが、手にしてみれば、消費税が「お先にご免」と笑っているほど、ささやかなものでした。

これでは、誰だって腹が立つというものです。「賃上げさん、年金さん、私を越さないで」と消費税が言っているようですが、これは許さん。許されないのです。

そのためにも、皆んなが力を合わせ、心を寄せ合ってお互いに頑張りましょうよ。そしてダリヤの花のように、きれいに咲きましょう。

今日まで頑張ってきたように、明日からも頑張り続けるのです。せめて、人並みの暮らしがしたいから――。

あほーだら

芦岡友徳

団結強め裁判勝利へ

新たな合理化許さず

三池不当解雇訴訟団が定期総会

第一次基準解雇（一九八八年六月末）、そして提訴から二年を経た三池不当解雇訴訟団は七月二十七日、組合事務所で今年度の定期総会を開きました。

総会は、甲斐副団長の開会のあいさつのあと議長に西山氏を選び、小柳団長が三年目のたたかいへの団結を訴えながらあいさつ。続いて中原組合長が、第九次石炭政策への展望や三池炭鉱の現状、当面のたたかいにふれながら激励のあいさつをしました。

来賓として、藤田三池主婦会会長、緒方三池退職者の会会長、藤田三池被災者の会事務局長からそれぞれ連帯と激励のあいさつを受けました。

また、弁護団を代表して田中弁護士が第九回公判までの概要と裁判闘争の意義、今後の問題点などを報告、「法廷をいっぱいにし、共にたたかい抜きましょう」とあいさつされました。

報告事項では経過を杉本事務局長、決算を田中（教）会計、監査を田中（順）監査が行い承認されました。

議事に入って規約一部改正案と今年度の活動方針案を杉本事務局長が提案。さらに、予算案を田中次長が提案し、意見を交わしたあと決定されました。

役員改選では現役員と幹事の全員留任が決まり、またその他の項で当面の活動について確認し「団結頑張ろう」を三唱して閉会しました。

新役員です。よろしく。

団長……小柳　康治
副団長……甲斐　俊久
事務局長……杉本　一男
〃次長（会計兼務）田中　教幸
幹事……西山　正勝
幹事……稲田　明馬
監査……松尾　進
監査……田中　順一

三池主婦会

定期総会

とき　8月26日(日)午後9時30分

ところ　労働金庫大牟田支店2F

時の問題

イラクのクウェート侵攻

背景に原油問題も

撤退へ国際世論高まる

イラクが現地時間の八月二日未明、隣国クウェートに侵攻、ほぼ全土を制圧しました。

日米欧各国はこれに対し、イラク、クウェートからの原油輸入禁止をはじめとする制裁措置に踏み切りました。原油輸入量の一二%を両国に頼る日本では、輸入が完全にストップした場合でも百四十二日間は持ちこたえるだけの備蓄があり、すぐに影響は出ないだろうとみられています。しかし一方では「市況の値上がりは避けられない」（長谷川晃二石油連盟外国調査部長）との見方もあり、「石油ショック」時のような便乗値上げの可能性も完全には否定できません。

イラクが今回、侵攻した理由は必ずしも明白ではありませんが、①石油値下げにつながりかねないクウェートの増産態勢をやめさせる、②イラクのペルシャ湾岸近くにあるクウェート領の二島確保で、石油の積み出しを容易にする、③対イラン戦争時にクウェートから借りた債務を帳消しにする、などが指摘されています。

理由はどうであれ、自らの主張を武力で押し通そうとする態度は許されるものではありません。イラクに対し、即時、完全撤退せよとの国際世論が高まっています。

ところで、イラクがクウェートに突然侵攻したことについては専門家からも「意外だ。やり過ぎの感は否めない」（鳥井順防衛研究所主任研究官）との驚きの声があがっています。フセイン大統領を侵攻に動かしたものとしては、国家的な理由とは別に、中東の新盟主の座を視野に入れた個人的野心があったものとみられますが、それを支えるものとして、イラクが中東随一の軍事大国だという点を見過ごすわけにはいきません。

ソ連やフランスなどが、対イラン戦争時などに莫大な量の戦車、戦闘機、ミサイルなどを売りつけたからです。英国国際戦略研究所は「イラクは今後四年間、武器不足の危機感を抱かない」というほどです。イラクの軍事大国化は、他の中東諸国の軍拡も促しています。自らの利益のみで兵器を売りつけてきた大国の責任もまた重大です。

川柳

竹とんぼ

防衛費　福祉をくって　肥え太り

扉しめ　命をうばう　管理主義

ビャガーデン　祭りばやしが興をそえ

狂句

太田童官

ボーナスの　世間並みは　はるかなり

ボーナスは　クーラーと　ビールで　泡と消ゆ

ボーナスを　わざと遅らし　何企らむ